

点検・評価の結果

政府統計コード	00500231（農林水産省）
基幹・一般の別（選択記入）	その他一般統計調査
調査の名称	食品循環資源の再生利用等実態調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択（複数選択可）	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他（未利用資源活用対策実施のための資料等）
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

<div>調査計画との整合性 (整合している場合チェック)</div>	<div><div><div><div><div><div>☐ 1.調査の目的</div><div>☐ 2.調査対象の範囲 ※</div><div>☐ 3.報告者数等※</div><div>☐ 4.報告事項とその基準期日 ※</div><div>☐ 5.報告の方法 ※</div><div>☐ 6.報告を求める期間 ※</div><div>☐ 7.集計事項 ※</div><div>☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※</div><div>☐ 9.使用する統計基準</div><div>☐ 10.調査票情報の保存</div><div>☐ 11.立入検査</div></div><div><div>報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等</div><div>報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</div><div>報告を求めるために用いる方法</div><div>調査結果の公表の方法及び期日</div><div>調査票情報の保存期間及び保存責任者</div><div>基幹統計調査のみ</div></div></div><div>全項目整合</div></div></div></div>
---	--

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<input checked="" type="checkbox"/> 課題なし <input type="checkbox"/> 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） <input type="checkbox"/> その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
---	---

③ 必要な精度の確保・向上の観点

1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
	○ 達成精度	平成29年度結果以降、以下のとおり改定	令和5年度実施調査 (総務大臣の承認時期：令和5年4月19日)	(令和4年度結果)	(平成29年度結果)	(平成25年度結果)
	○ 回収率・回答率	①食品リサイクル法に基づく定期報告の結果と本調査結果を併せた全体結果(食品廃棄物等の年間発生量)について、目標精度5%に設定		【実績精度】 ①調査結果のみ(食品廃棄物等の年間発生量100t未満)、②定期報告結果も含んだ全体 ・食品製造業 ①11.3%、②0.2% ・食品卸売業 ①16.8%、②9.5% ・食品小売業 ①21.0%、②3.6% ・外食産業 ①18.2%、②15.2% 【回収率】 42.7%	【実績精度】 ①調査結果のみ(食品廃棄物等の年間発生量100t未満)、②定期報告結果も含んだ全体 ・食品製造業 ①13.5%、②0.2% ・食品卸売業 ①20.3%、②5.4% ・食品小売業 ①13.6%、②2.4% ・外食産業 ①8.2%、②4.9% 【回収率】 50.7%	【実績精度】 6.2% 【回収率】 42.4%
	回収調査票数	②本調査結果(食品廃棄物等の年間発生量)について、目標精度10%に設定				
	カバレッジ	③標本数の決定に当たっては①、②により標本の大きさを算出し、大きい方を採用				
	その他	④標本設計時の目標回収率は50%に設定し、標本数の算出に加味				
	設定なし					